

きずな

< HFDJ 報告 >

2008.6 (Vol.8. No.1)

Hope and Faith Development Japan

〒 158-0094 世田谷区玉川 4-10-20 TEL(FAX)03-3707-5216

Web: <http://www.tamachape.com/hfdj.htm> e-mail: asiassupport@tamachape.com

編集発行人：HFDJ 代表 福井 誠

For donations →三菱東京 UFJ 銀行（普） 3778351 HFDJ 代表福井誠

今号の思索

3月、ベトナムのダラットを訪問しました。ちょうど、キリスト教ではイースターという行事日程に重なる時期でした。繁華街のホテルに隣接する広場で、早朝、キリスト教のミサが行われていました。また夜には、教会で歌われる賛美歌が大音量で町に響いていました。隠れるようにして集会を開き、賛美歌も歌えずにおり、目立つ宗教活動を行う者は皆、警察に捕まえられて留置された、そんな2年前が嘘のようです。時代は変わったのだと思わされました。

また、ホーチミン・シティで、家の教会のネットワークをまとめる一牧師にも会い、話をする機会がありました。そこでも一つの変化を覚えさせられるところがありました。政府が貧困などの社会問題の解決のためにキリスト教会を通じて外国の NPO 法人活動の協力が得られないだろうかと打診してきたのだといいます。取り締まりの対象であったキリスト教会が、今や社会問題の解決のために、活躍する機会を与えられるようになったのです。それはちょうど、社会の近代化のためにキリスト教会が重宝にされた、日本の明治期や戦後を思わせる出来事です。



バイクはベトナム名物

さてどうやってこの機会を生かしていこうかと考えました。とりあえずは、フィリピンでこれまで HFDJ が培ってきたノウハウをベトナムに応用していったらどうかと考えました。フィリピン現地の NPO 団体との協力をなしてきた、貧困地域の生活自立支援活動および教育支援活動をどこまでベトナムのメコンデルタ地域に導入できるか、そこを考えていく必要があるかと思いました。

とりあえず現地の状況を精査しなくてはなりません、そのための事前準備も必要です。このような働きを展開するには、やはり多くの人の理解と協力を必要とします。続けて支援をいただければ幸いです。

(HFDJ 代表 福井 誠)